

見て、聞いて、触って…

陶片と文献から探る宋磁の世界



宋磁といっても、官窯をはじめ龍泉窯や磁州窯などの民窯と様々な様式美が広がります。この講座では、陶片や文字資料、さらに最近の考古資料の発見を紹介しながら、宋磁が目指していた世界観を探っていきます。とくに今回は、実際に代表的な各窯の陶片を間近で見くらべ、触れながら、釉薬や胎土の厚さ、色合いなどを比較し、その秘密を紐解いてみます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

講師： 徳留大輔(出光美術館学芸員)

九州大学大学院比較社会文化学府博士後期課程修了。博士(比較社会文化)。主に中国陶磁・考古学、萩焼を研究。「東洋・日本陶磁の至宝」展(2016年)「茶の湯のうつわ ―和漢の世界」(2017年)を担当。

講座スケジュール

2018年 5月28日(月)

① 午前10時30分～12時30分(入場午前10時より 閉場午後1時30分)

② 午後2時～4時(入場午後1時30分より 閉場午後5時)

- * いずれも講座の内容は同じです。
- * 講義レベルは、大学での講義に準じます。
- * 各回とも講座のなかで、煎茶とお菓子の休憩時間を設けております。

募集人員： 各回 先着15名

(定員になり次第締め切らせていただきます)

受講料： 3,500円(入館料・資料代/煎茶・菓子付)

会場： 出光美術館

東京都千代田区丸の内3-1-1 帝劇ビル9階
(出光美術館専用エレベーター9階)

申込方法： 当館ミュージアムショップにて事前にお申し込みください。

* 電話等での申し込みはお断りしております。



- * お申し込み時に講座日時指定の受講票をお渡しいたします。当日ご持参の上、美術館受付にてご提示ください。
- * お申し込み後の変更、キャンセルはお受けできませんので予めご了承ください。
- * その他、ご質問等ございましたら、出光美術館学芸課内、特別講座事務局までお問い合わせください。